

実験バス（さくらバス）運行結果報告書

平成 25 年 3 月

さくら坂・鈴美台地区の地域公共交通を創る会
河南町、特定非営利活動法人地域デザイン研究会

目次

はじめに	3
取り組みの経過.....	4
《 I 》 実験バス運行データ	10
1. 概要.....	10
2. 各曜日・各便ごとの利用者数.....	10
3. 利用目的別乗客数比率	11
4. さくらバスとやまなみバスの比較.....	11
《 II 》 実験バスアンケート調査	13
1. 個人属性.....	13
2. 実験バスの周知	13
3. 実験バス利用の有無.....	14
4. 実験バス利用目的	14
5. 金剛バス乗り継ぎ（寺田）	15
6. 負担可能乗車賃	15
7. 実験バスの評価	16
8. これからの交通について.....	18
9. 自由意見.....	18

はじめに

高齢化の進行にともなう運転免許証返納者の増加や CO2 削減・地球温暖化防止対策の必要性などの観点から、地域公共交通の重要性は一層増している。

しかしその反面、多くの自治体が行政主導でバスを走らせたものの利用者が少なく、「空気を運んでいる」と揶揄されたり、民間事業者においても自家用車の普及や少子化によってバスなどの利用者は減少傾向にあり、地域公共交通を取り巻く状況は厳しい。

町域に鉄軌道が通っていない本町においては、主要な公共交通機関は民間事業者による路線バスであるが、バスルートや便数などの面で利便性が十分とは言えない地区もある。また、町立福祉施設の送迎バス（やまなみバス）は住民の日常生活行動を念頭においた運行形態ではなく、地域公共交通の機能を果たしているとは言えない。

このような状況の中、持続可能な地域公共交通システムを構築するためには、「住民が守り、育てる交通」について住民とともに考え、「協働」によって地域公共交通の利便性向上に取り組んでいくという観点が不可欠である。

そこで本町は、住民との協働、NPOとの協働を基本理念とし、平成 21 年度から特定非営利活動法人地域デザイン研究会と河南町地域公共交通調査・研究パートナーシップ事業に取り組んでいる。

今回、住民有志で地域の交通について考える組織である「さくら坂・鈴美台地区の地域公共交通を創る会」が主体となり、住民自身でニーズを抽出して運行内容を考える実験バスを運行するにあたり、同事業の一環として取り組みを支援した。

これは、「住民が守り育てる交通」のモデルケースとして住民組織活動を支援することで、住民が主体となって交通問題に取り組む意義を確認し、住民意識醸成を促進するとともに、運行により今後の交通システムを検討するにあたってのデータをを得ることを目的としたものである。

本報告書は、実験バスの運行結果をとりまとめ、本町の今後の地域公共交通充実化方策の検討に役立てるものである。

河南町、特定非営利活動法人地域デザイン研究会

取り組みの経過

今回の実験バス運行は、住民が主体的に交通について考え、運行に携わるものであり、本会が、NPO 法人地域デザイン研究会の指導のもと、地区ワークショップにより住民ニーズを抽出し、実験バスのルート・ダイヤを住民目線で計画・決定したものである。

実験バス運行周知のため、住民説明会を朝と夜の2回、開催したほか、時刻表やルートもわかりやすくまとめた「さくらバス 乗り方ガイドマップ」を作成してさくら坂・鈴美台地区に全戸配布した。

「住民が守り育てるバス」とするため、バス停看板も同会メンバーで手作りし、実験バスの名称を地区住民から公募して投票により「さくらバス」と命名するなど、住民が愛着をもってバスを利用できる工夫を実践した。また、実験期間中に利用者からバス停付近の商店の情報を知りたいとの要望に応えるべく同会メンバーが商店へ取材に行きお店マップ作成し全戸配布した。

実験後は、実験バスについての住民意識を調査するためのアンケート票を同会で検討し、さくら坂・鈴美台地区に自治会の協力のもと全戸配布し、回収及び集計を行った。

なお、ワークショップ開催、アンケート票の作成及び集計・分析には地域デザイン研究会及び町と連携し行ったものである。

さくら坂・鈴美台地区の地域公共交通を創る会

H24. 1. 18 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくら坂・鈴美台地区の地域公共交通を創る会」設立 実験バスの目的について、やまなみバスの再編時、さくら坂、鈴美台地区に便利なバス停、運行ルートなどを行政、事業者へ提言することを目的にして①買い物②通学・通院として取り組むことなどを確認。
H24. 5. 27 (日)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ワークショップ (鈴美台3丁目集会所)
H24. 6. 9 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ワークショップ (鈴美台1丁目集会所)
H24. 6. 22 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ワークショップ (さくら坂地区集会所)
H24. 9. 15 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ・運行説明会 (河内小学校体育館) ・公募・投票により、実験バスを「さくらバス」と命名
H24. 9月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらバス乗り方ガイドマップ作成・配布 (さくら坂・鈴美台全戸配布) ・バス停看板作成・設置
H24. 10. 01 (月) ～10. 31 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらバス運行 ※地車曳行のため、19日(金)・20日(土)・21日(日)を除く
H24. 11. 01 (木) ～11. 17 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらバスに関するアンケート調査票作成・配布 (さくら坂・鈴美台全戸配布)
H24. 11. 17 (土) ～12月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート票回収
H25. 1月～	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート集計・分析

<地区ワークショップ（さくら坂地区集会所にて）>



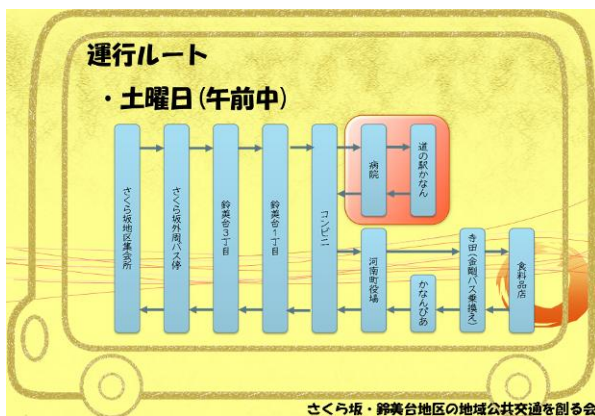
<運行説明会（河内小学校体育館にて）>



さくら坂・鈴美台地区の地域公共交通を創る会
 <説明会次第>

(朝の部)		(夜の部)	
10:00		19:00	開会
			開会の挨拶
10:05		19:05	今日までの取組みと今後の取組みについて
			実験バスの目的について
			運行ルートについて
			モデルプラン
			注意事項とアンケートのお願い
10:50		19:50	質疑応答
11:25		20:25	住民への呼びかけ
11:30		20:30	閉会

さくら坂・鈴美台地区の地域公共交通を創る会



バス停：河南町役場

・役場ロータリがバス停です。

さくら坂・鈴美台地区の地域公共交通を創る会

<乗り方ガイドマップ（一部抜粋）>

運賃無料 (実験バス)

さくらバス

乗り方ガイドブック

Ver. 1.1

<運行期間>
 平成24年10月1日(月)～10月31日(水)
 ※但し、19日、20日、21日は、祭礼のため全便運休



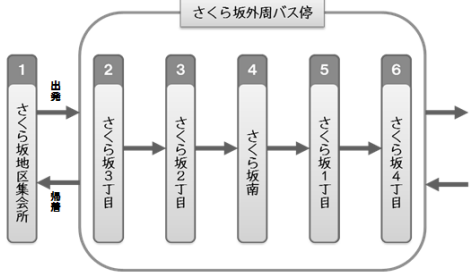
さくら坂・鈴美台地区の地域公共交通を創る会

さくらバス（実験バス）路線図



2

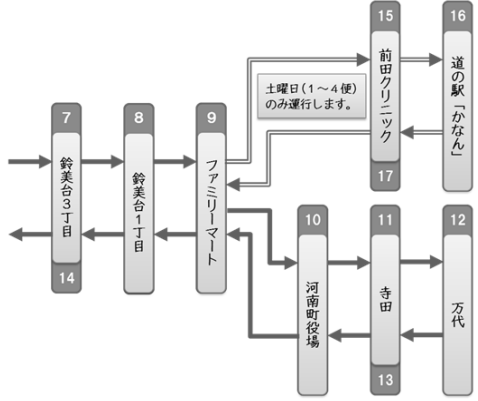
3. 運行ルート



■さくらバス（実験バス）停留所

停留所	停留所設置場所
1 さくら坂地区集会所	さくら坂地区集会所 駐車場
2 さくら坂3丁目	コミステーション前の住宅地側 歩道付近
3 さくら坂2丁目	コミステーション前の住宅地側 歩道付近
4 さくら坂南	コミステーション前の住宅地側 歩道付近
5 さくら坂1丁目	コミステーション前の住宅地側 歩道付近
6 さくら坂4丁目	コミステーション前の住宅地側 歩道付近
7 鈴美台3丁目	万代方面のバス停 やまなみバスのバス停
8 鈴美台1丁目	鈴美台1丁目地区集会所前
9 ファミリーマート	ファミリーマート河南白木の駐車場
10 河南町役場	正面玄関ロータリー
11 寺田	旧セブンイレブン 河南寺田店前 ※金剛バス乗換えに対応
12 万代	万代 河南町店の道路側のスロープ付近
13 寺田	松田呉服店前 ※金剛バス乗換えに対応
14 鈴美台3丁目	さくら坂方面のバス停 ガスタック前付近
15 前田クリニック	道の駅方面のバス停 前田クリニックの駐車場前
16 道の駅「かなん」	国道309号線の歩道切れ込み付近
17 前田クリニック	さくら坂方面のバス停 前田クリニックの正面玄関前

6



■さくらバス（実験バス）運行時間表

運行曜日	運行時間	便数
平日(月～金)	午前9時00分～午後8時42分	9便
土曜日	午前8時00分～午後8時41分	9便
日曜日	午前9時20分～午後7時43分	8便

■さくらバス（実験バス）運行期間、運休日

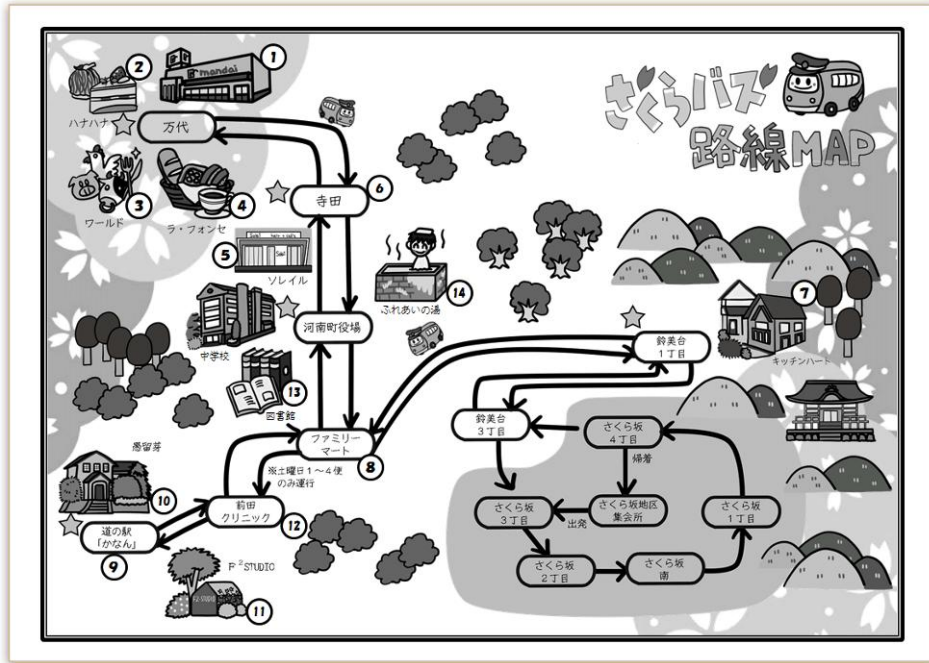
項目	内容
運行期間	10月1日(月)～10月31日(水)
運休日	10月19日(金)、20日(土)、21日(日) ※祭礼のため、全便運休します。

7

<オープニングセレモニー>



<お店マップ>



<p>方代停留所周辺</p> <p>実業 方代 河南町 〒595-0024 河南町山越 483-3 ☎0721-961-881 ●営業時間 08:30 ~ 24:00</p> <p>Real Fresh Mandai</p> <p>方代は、お祭りのまちとして「より楽しく」「より快適に」をコンセプトに様々な取り組みを推進してまいります。</p>	<p>方代停留所周辺</p> <p>実業 ミトコファ 駄辻のワールド 〒585-0024 河南町山越 483-1 ☎0721-931-153 ●営業時間 09:00 ~ 20:00 1392号 11:00 ~ 14:00</p> <p>ワールド</p> <p>●ミートショップ ワールド牧場グループ牧場産肉だからこその新鮮な肉を大切に扱っています。自産の肉類を徹底した品質管理でカットして提供いたします！ ●肉類産品が得意なレストラン お肉屋さんならではの高級肉を、新鮮な肉を大切に扱っています。自産の肉類を徹底した品質管理でカットして提供いたします！</p>	<p>寺田停留所周辺</p> <p>実業 カフェ Soleil hair+cafe 〒585-0014 河南町白木 1395-1 ☎0721-931-154 ●営業時間 10:00 ~ 18:00 ●定休日 毎週月曜日、第1・3土曜日</p> <p>実業 松田呉服店 〒585-0011 河南町寺田 245-9 ☎0721-931-066</p> <p>実業 カフェ キッチンハート 〒585-0028 河南町新美戸 1-8-4 ☎0721-931-2450 ●営業時間 09:30 ~ 17:30 ●定休日 月曜日、水曜日</p> <p>実業 Hitchen</p> <p>●特別厳選されたお肉が豊富に揃っています。お肉の品質を徹底して管理しています。お肉の品質を徹底して管理しています。お肉の品質を徹底して管理しています。</p>
---	---	--

<p>方代停留所周辺</p> <p>実業 アグリネット 河南白木店 〒585-0014 河南町白木 842-1 ☎0721-961-881 ●営業時間 24時間</p> <p>なんでもコンビニ FamilyMart</p> <p>●なんでも、コンビニファミリーマートです。</p>	<p>道の駅「かなん」 〒585-0084 河南町寺田 1 528-1 ☎071-961-8111 ●営業時間 06:00 ~ 17:00 ●定休日 年末年始 12/31 ~ 01/04</p> <p>道の駅「かなん」 Kanan ●道の駅「かなん」は、大阪中心部から南の約100kmに位置する。道の駅「かなん」は、道の駅「かなん」の魅力を最大限に引き出す。道の駅「かなん」の魅力を最大限に引き出す。道の駅「かなん」の魅力を最大限に引き出す。</p>	<p>実業 グリル巻留芽 〒585-0084 河南町山越 489-27 ☎0721-931-658 ●営業時間 08:00 ~ 20:00 ●定休日 土曜日・不定休あり</p> <p>道の駅「かなん」 実業 F2 studio 〒585-0084 河南町山越 474-1 ☎0721-931-8220 ●営業時間 09:00 ~ 17:00 ●定休日 日曜日・月曜日</p> <p>実業 P STUDIO</p> <p>●アート・デザイン・グラフィック・印刷の分野で、お客様のニーズに応じます。アート・デザイン・グラフィック・印刷の分野で、お客様のニーズに応じます。アート・デザイン・グラフィック・印刷の分野で、お客様のニーズに応じます。</p>	<p>新田クリニック 〒585-0034 河南町山越 289 ☎0721-931-8850</p> <p>新田クリニック</p> <table border="1"> <tr> <th>診療時間</th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土</th> <th>日</th> </tr> <tr> <td>午前 00~12:00</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>午後 00~17:00</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>※休診日：毎月第1・3土曜日、毎月第2・4日曜日、年末年始</p>	診療時間	月	火	水	木	金	土	日	午前 00~12:00	○	○	○	○	○	○	○	午後 00~17:00	○	○	○	○	○	○	○
診療時間	月	火	水	木	金	土	日																				
午前 00~12:00	○	○	○	○	○	○	○																				
午後 00~17:00	○	○	○	○	○	○	○																				

<アンケート票>

さくら坂・鈴美台地区 実験バス「さくらバス」に関するアンケート調査票		さくら坂・鈴美台地区の地域公共交通を創る会 特定非営利活動法人地域デザイン研究会																													
問1 あなたご自身についておたずねします。		回答①	回答②	回答③	回答④	回答⑤	回答⑥																								
1-1	年齢 ア. 19歳以下 イ. 20歳代 ウ. 30歳代 エ. 40歳代 オ. 50歳代 カ. 60歳代 キ. 70歳代 ク. 80歳以上																														
1-2	性別 ア. 男 イ. 女																														
1-3	職業等 ア. 農業・自営業 イ. 会社員等 ウ. パート・アルバイト エ. 専業主婦（主夫） オ. 無職 カ. 小学生 キ. 中学生 ク. 高校生 ケ. 学生（短大、大学、専門） コ. その他																														
1-4	住所 ア. さくら坂1丁目 イ. さくら坂2丁目 ウ. さくら坂3丁目 エ. さくら坂4丁目 オ. さくら坂南 カ. 鈴美台1丁目 キ. 鈴美台3丁目 ク. その他の地区（ ）																														
問2 実験バス（さくらバス）についておたずねします。		回答①	回答②	回答③	回答④	回答⑤	回答⑥																								
2-1	実験バスを何で知りましたか？（一番効果のあったものを1つ回答してください） ア. 「さくらバス乗り方ガイドマップ」 イ. 「交通まちづくりニュース」 ウ. 実験バス運行説明会 エ. 町広報紙 オ. 町ホームページ カ. 新聞記事 キ. 運行しているバス・バス停を見て ク. 人から聞いた ケ. その他（ ） コ. 知らなかった																														
2-2	実験バスを利用しましたか。 ア. 利用した（⇒ 問3～6にお答えください） イ. 利用しなかった（⇒ 質問7にお答えください） ★利用しなかった理由は？（利用しなかった方のみお答えください） 1. 知らなかった 2. 行きたいところがない 3. 必要がなかった 4. 車のほうが便利 5. その他（ ）																														
問3 実験バス（さくらバス）をご利用された方におたずねします。		回答①	回答②	回答③	回答④	回答⑤	回答⑥																								
3-1	実験バス利用の主な目的は？（よく利用したものを1つ回答してください） <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr> <th>買物</th> <th>公共施設等</th> <th>通学</th> </tr> <tr> <td>ア-1. 万代</td> <td>イ-1. 役場</td> <td>ウ-1. 登校</td> </tr> <tr> <td>ア-2. ファミリーマート</td> <td>イ-2. かなんピア</td> <td>ウ-2. 下校</td> </tr> <tr> <td>ア-3. 道の駅</td> <td>イ-3. 図書室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ア-4. その他</td> <td>イ-4. スポーツ施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ-5. その他</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr> <th>乗継</th> <th>通院</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>エ. 金剛バス寺田乗継</td> <td>オ. 通院 病院名（ ）</td> <td>カ. その他 目的（ ）</td> </tr> </table> オと回答された方は、病院名 カと回答された方は、目的を記入下さい	買物	公共施設等	通学	ア-1. 万代	イ-1. 役場	ウ-1. 登校	ア-2. ファミリーマート	イ-2. かなんピア	ウ-2. 下校	ア-3. 道の駅	イ-3. 図書室		ア-4. その他	イ-4. スポーツ施設			イ-5. その他		乗継	通院	その他	エ. 金剛バス寺田乗継	オ. 通院 病院名（ ）	カ. その他 目的（ ）						
買物	公共施設等	通学																													
ア-1. 万代	イ-1. 役場	ウ-1. 登校																													
ア-2. ファミリーマート	イ-2. かなんピア	ウ-2. 下校																													
ア-3. 道の駅	イ-3. 図書室																														
ア-4. その他	イ-4. スポーツ施設																														
	イ-5. その他																														
乗継	通院	その他																													
エ. 金剛バス寺田乗継	オ. 通院 病院名（ ）	カ. その他 目的（ ）																													
3-2	実験期間中のバス利用回数は？ （1日で複数回利用した場合はその回数を含む）	平日	往復	回数	回数	回数	回数	回数	回数																						
		平日	片道	回数	回数	回数	回数	回数	回数																						
		土曜	往復	回数	回数	回数	回数	回数	回数																						
		土曜	片道	回数	回数	回数	回数	回数	回数																						
		日・祝	往復	回数	回数	回数	回数	回数	回数																						
		日・祝	片道	回数	回数	回数	回数	回数	回数																						
3-3	行き・帰りについて利用した時間帯は？ 注：バス時刻表の正確な時間だけでなくよい （寺田バス停乗り継ぎについては「問4」）	平日	行き																												
		平日	帰り																												
		土曜	行き																												
		土曜	帰り																												
		日・祝	行き																												
		日・祝	帰り																												
問4 問3-1において「寺田」で金剛バスに乗り継がれた方におたずねします		回答①	回答②	回答③	回答④	回答⑤	回答⑥																								
4-1	乗り継ぎについて ア. 富田林方面への金剛バスに乗り継いだ イ. 金剛バス寺田で下車し、さくら坂方面の実験バスに乗り継いだ																														
4-2	乗り継いだ理由についてお尋ねします（複数回答） ア. 買物等 イ. 通院 ウ. 通勤 エ. 通学 オ. 帰宅 カ. その他（理由： <input style="width: 150px;" type="text"/> ）																														
4-4	乗り継ぎの時間帯について（複数） ① 実験バス寺田停留所での富田林方面乗り継ぎ、降車時間 ② 実験バス寺田停留所でのさくら坂方面乗り継ぎ、乗車時間	①降車時間																													
		②乗車時間																													

問5	乗車賃についておたずねします。	回答①	回答②	回答③	回答④	回答⑤	回答⑥
5-1	今回の実験バスで運行した内容（ルート・便数等）であれば、いくらまで乗車賃を支払ってよいと思われますか？	円/1回	円/1回	円/1回	円/1回	円/1回	円/1回

問6	実験バス運行についての評価をおたずねします。	回答①	回答②	回答③	回答④	回答⑤	回答⑥
6-1	運行ルートについて ア. 満足 イ. 不満（理由： <input type="text"/>						
6-2	運行本数について ア. 満足 イ. 増やしてほしい（ <input type="text"/> 分に1便程度）						
6-3	運行時間帯について ア. 満足 イ. 不満 イ-1. もっと早くから イ-2. もっと遅くまで イ-3. その他 <input type="text"/>						
6-4	生活面への影響は？ ア. 外出する機会が増えた イ. 以前と変わらない						
6-5	バス利用への転換について ア. 元々バスを利用していなかったが、さくらバスを利用した。 イ. 元々金剛バスを利用していたが、かわりにさくらバスを利用した。 ウ. 元々やまなみバスを利用していたが、かわりにさくらバスを利用した。 転換の理由を記入下さい 回答者① <input type="text"/> 回答者② <input type="text"/> 回答者③ <input type="text"/> 回答者④ <input type="text"/> 回答者⑤ <input type="text"/> 回答者⑥ <input type="text"/>	分に1便程度	分に1便程度	分に1便程度	分に1便程度	分に1便程度	分に1便程度

問7	これからの交通についておたずねします。	回答①	回答②	回答③	回答④	回答⑤	回答⑥
7-1	今後、今回の実験のようにバスを充実していくことを望まれますか？ ア. 望む イ. 望まない（理由： <input type="text"/>						
7-2	バス運行を充実し、持続するには、何が必要と思われるか？（複数回答可） ア. 1人ひとりがバスを利用すること イ. 有料運賃による運営 ウ. 税金の投入 エ. 路線バス事業者の協力 オ. その他（ <input type="text"/> ）						

問8	～自由意見～ 実験バス運行・地域公共交通について問題点や課題及び感想などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。11月17日（土）までに班長さん、組長さんへ提出をお願い致します。

《 I 》 実験バス運行データ

1. 概要

- ・平成24年9月末現在の地区総人口・・・3,823人
(鈴美台1～3丁目：665人、さくら坂1～4丁目・南：3,158人)
- ・運行期間・・・28日間(H24.10.1～10.31 ※10.19～10.21を除く。)
- ・期間中乗客数・・・2,201人(1日平均：約79人)

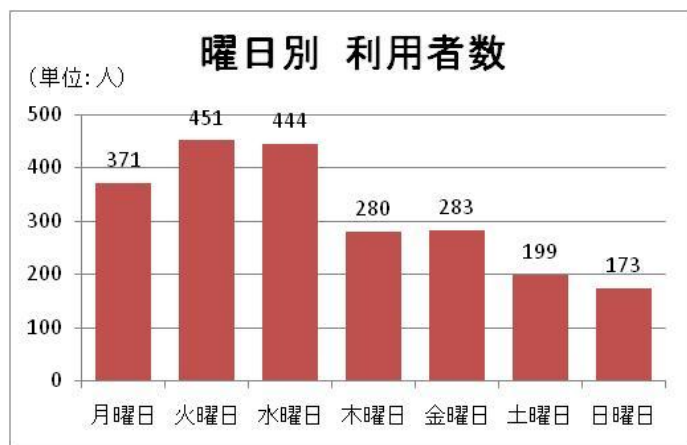
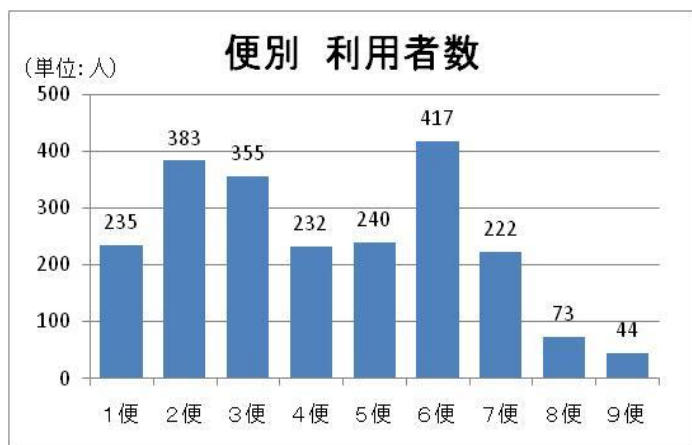
2. 各曜日・各便ごとの利用者数

- ・利用が多かったのは火、水、金曜日及び2, 3, 6便、利用が少なかったのは土、日曜日及び8, 9便であった。
- ・土日祝日及び18～21時の便の利用者が少なかった点は、運行時間帯など、今後の交通システム検討の参考にできる。

表1：各曜日・各便ごとの利用者数(乗車人数)

	9:00～10:09	10:19～11:28	11:38～12:47	12:57～14:06	14:16～15:25	15:35～16:45	16:55～18:04	18:14～19:23	19:33～20:42	合計
	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	
月曜日	54	63	51	51	38	78	22	9	5	371
火曜日	51	80	85	38	41	87	50	14	5	451
水曜日	32	60	52	38	58	105	57	20	22	444
木曜日	29	35	59	37	27	49	27	13	4	280
金曜日	42	66	33	19	22	45	38	12	6	283
土曜日	13	53	50	20	18	21	17	5	2	199
日曜日	14	26	25	29	36	32	11	0	0	173
合計	235	383	355	232	240	417	222	73	44	2201

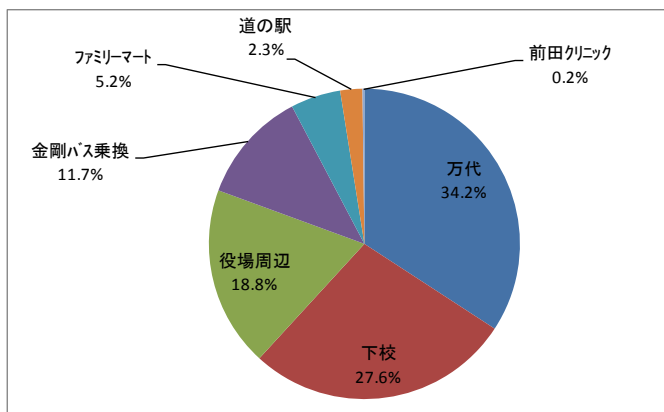
図1：便別・曜日別 利用者数(乗車人数)



3. 利用目的別乗客数比率

- ・ 役場周辺は町中心部であるが、スーパーのように日常生活に関連した路線設定ニーズのほうが高い。
- ・ 下校は行動頻度が高いので、乗客数比率も高い傾向にある。

図2：利用目的別乗客数比率



4. さくらバスとやまなみバスの比較

(1) 利用人数

- ・ 1便あたりの利用者数では、さくらバスはやまなみバスの約1.8倍であった。
- ・ やまなみバスよりも多くの利用があった要因は、創る会の住民活動の成果と住民ニーズを反映した路線設定であると考えられる。住民とともに創る交通の重要性が改めて認識される。

表2：さくらバスとやまなみバスの比較（利用者数）

(単位:人)	① さくらバス 28日間運行(1台・1日12h)		② やまなみバス 26日間運行(2台・各1日6h)		①/②	①/③
H24.10月 運行データ	2,201	うち平日9~18時 ^[1]	1,257	③ うちCコース ^[2]	1.75倍	7.78倍
1か月(1台)あたり	2,201	1,719	628.5	283	3.5倍	7.78倍
1日(1台)あたり	78.6	78.1	24.2	10.9	3.25倍	7.21倍
1時間(1台)あたり	6.6	8.7	4	—	1.65倍	—
1便あたり	全9便	全7便	全10便 ^[3]	全2便	1.81倍	1.61倍
	8.7	11.2	4.8	5.4		

注1) 利用の少なかった土日及び18時以降(8・9便)の運行を除いた22日間で算出

2) さくら坂・鈴美台代地区を經由するコース

3) 往復で1便とし、2台を合算し算出(1台5便)

(2) 運行コスト

- ・乗客1人あたりにかかるコストでは、さくらバスはやまなみバスの0.59倍である。
- ・利用の少なかった土日及び18時以降の運行をしない場合、乗客1人あたりにかかるコストは332円にまで下げられる可能性がある。さくらバス運行によって、有償運行による持続可能な交通システムを議論するうえでの数値データを得ることができた。

表3：さくらバスとやまなみバスの比較（運行コスト/リース代含）

（単位：円）	① さくらバス 28日間運行(1台・1日12h)		② やまなみバス 26日間運行(2台・各1日6h)		①/②	③/②
H24.10月 運行データ	874,000	③ うち平日9～18時 ^[1]	町所有車両使用時 667,000	車両リース代含 945,000	0.92倍	0.61倍
1か月(1台)あたり	874,000	572,125	333,500	472,500	1.85倍	1.21倍
1日(1台)あたり	31,214	26,006	12,827	18,173	1.72倍	1.43倍
1時間(1台)あたり	2,601	2,890	2,138	3,029	0.86倍	0.95倍
1便あたり	全9便	全7便	全10便 ^[2]	全10便 ^[2]	0.95倍	1.02倍
	3,468	3,715	2,565	3,635		
乗客1人あたり	399	332	534	673	0.59倍	0.49倍

表4：さくらバスとやまなみバスの比較（運用コスト/リース代除）

（単位：円）	① さくらバス 28日間運行(1台・1日12h)		② やまなみバス 26日間運行(2台・各1日6h)		①/②	③/②
H24.10月 運行データ	735,000	③ うち平日9～18時 ^[1]	町所有車両使用時 667,000	車両リース代含 945,000	1.1倍	0.65倍
1か月(1台)あたり	735,000	433,125	333,500	472,500	2.2倍	1.3倍
1日(1台)あたり	26,250	19,688	12,827	18,173	2.05倍	1.53倍
1時間(1台)あたり	2,188	2,188	2,138	3,029	1.02倍	1.02倍
1便あたり	全9便	全7便	全10便 ^[2]		1.14倍	1.1倍
	2,917	2,813	2,565	3,635		
乗客1人あたり	335	251	534	673	0.63倍	0.47倍

注1) 利用の少なかった土日及び18時以降（8・9便）の運行を除いた22日間

2) 往復で1便とし、2台で算出（1台5便）

《Ⅱ》 実験バスアンケート調査

- ・アンケート期間：H24.11.1～11.17
- ・アンケート回収率：約 17% (3,830 人中 670 人回答)

1. 個人属性

- ・年齢階層では 40 歳代が最も多く、次に多かったのが 19 歳以下である。
- ・買い物行動の中心である主婦層と運転免許証を持たない若年層（主に下校時に利用する中学生）の関心の高さを表している。
- ・男性は会社員が圧倒的に多く、女性は専業主婦、そしてパート・アルバイトが多い。

図 3 - 1：個人属性（年齢）

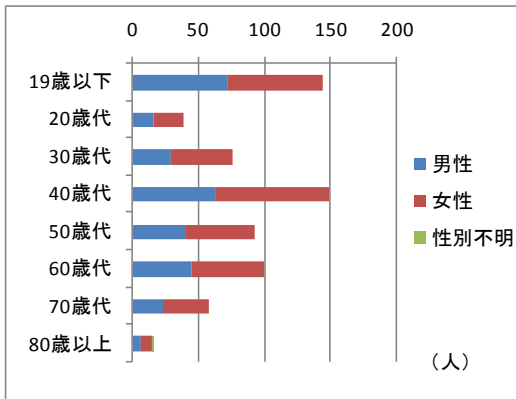
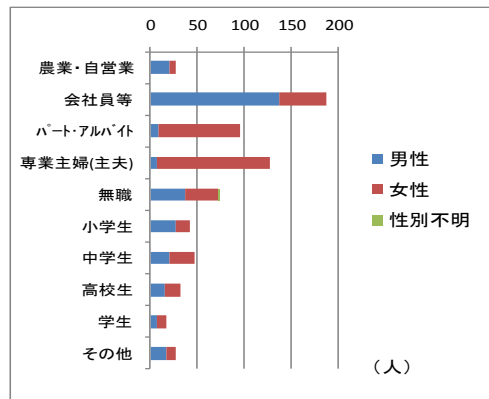


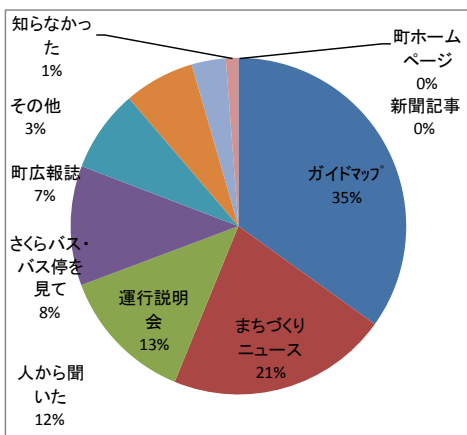
図 3 - 2：個人属性（職業）



2. 実験バスの周知

- ・実験バス運行について住民がどのような手段で知ったかは今後の PR 活動、交通についての住民意識醸成の意味から大変重要である。
- ・創る会の活動（ガイドマップ、交通まちづくりニュース、運行説明会）で運行を知った人が約 70% を占めた。今後とも情報共有の手段として活用していくことが重要である。

図 4：実験バスを何で知ったか



3. 実験バス利用の有無

- ・実験バス利用の有無は今後の交通問題を考える場合極めて重要であるが、回答者全体の3割しか実験バスを利用しなかったことは少し残念である。
- ・しかし、利用しなかった理由として「知らなかった」という人は1%しかおらず、創る会の住民活動による周知は効果があったと言える。
- ・利用しなかった理由として「行きたいところがない」或いは「必要がなかった」というのは、まちとしての魅力的な場所・施設が町に少ないということにつながると考えられる。
- ・クルマの方が便利という理由は当然うなずけるところであり、今後の交通を考えるにあたって常に議論となろう。

図5-1：利用の有無

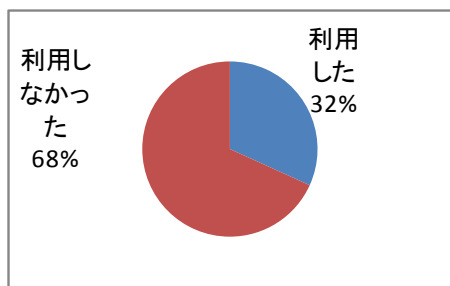
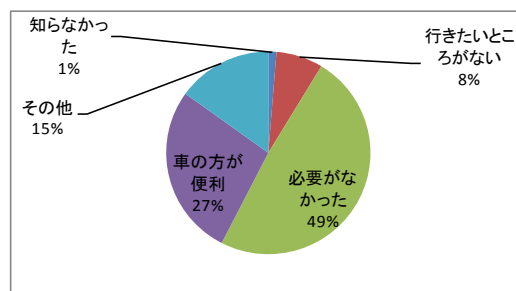


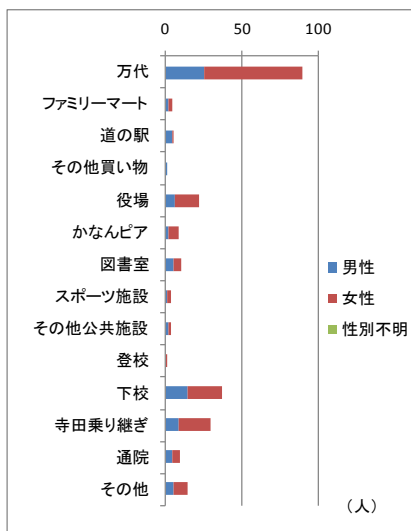
図5-2：利用しなかった理由



4. 実験バス利用目的

- ・万代が一番多かった（37.9%）が、当初からの実験バス導入目的そのものである。
- ・下校時（中学生）の利用が2番目に多かった（15.7%）ことは、通学（特に部活等で下校時間が遅くなった場合）の交通手段の必要性を示す。
- ・金剛バス乗継利用が3番目に多かった（12.3%）。今後の交通システムの路線・ダイヤを検討するポイントとして、金剛バスとの乗り継ぎ利便性が挙げられる。

図6：実験バス利用目的



5. 金剛バス乗り継ぎ（寺田）

- ・富田林方面への利用がさくら坂方面への利用よりも多い。行きはバスを利用するが帰りは家族の送迎を頼むなど、行きと帰りの交通手段が異なることを表している。
- ・富田林方面への乗り継ぎの目的では、通勤だけでなく、買い物や通院など日常生活における富田林方面への需要も多い。

図7-1：金剛バス乗り継ぎの方向

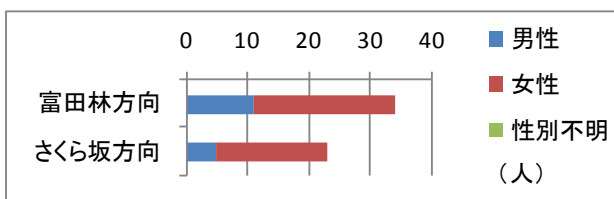
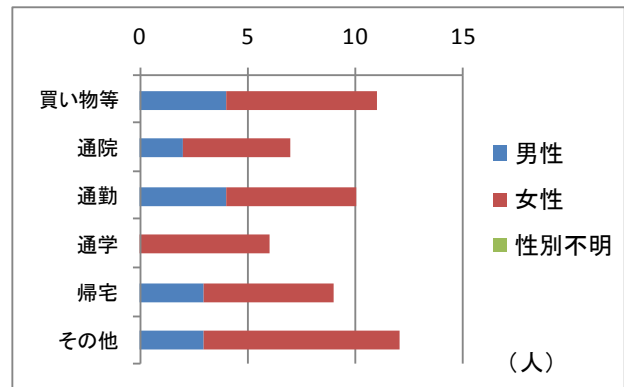


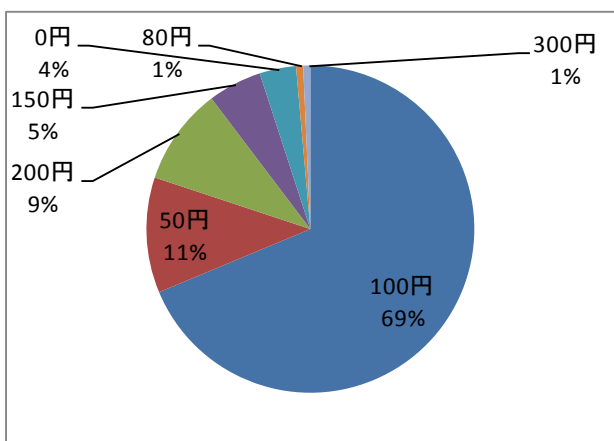
図7-2：乗り継ぎの理由



6. 負担可能乗車賃

- ・「今回の実験内容であればいくらまで乗車賃を払えるか」という問いには、男女を問わず 100 円という回答が最も多かった。
- ・50 円という意見は主に小中学生の意見である。学生割引などの制度も検討する意義がある。
- ・150 円、200 円という意見も潜在的にある。利用者においては、便利さと価格の点で路線バスとの比較もあると思われる。
- ・「0 円」とする回答がほとんどなかった。利用者としても、無償運行では高い利便性を期待できず、また運行を継続することができないことへの理解があると考えられる。今後、持続可能な交通システムを議論するうえで、有償運行を検討課題とすべきである。

図8：負担可能乗車賃

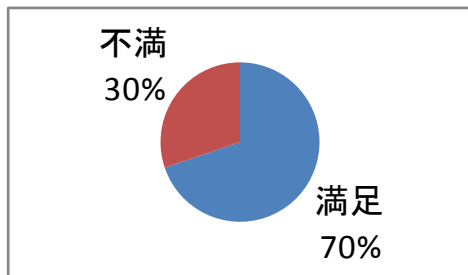


7. 実験バスの評価

(1) 運行ルートについての満足度

- ・運行ルートは創る会がワークショップで住民ニーズを集約したものであるため、約70%の人が満足と答えている。
- ・不満の理由として、①富田林駅までの運行を望む、②通勤時間帯に合わせ寺田までの運行を、③夕方以降は、万代に行かず寺田までとして通勤・通学の移動手段としての運行を望むなどがあり、潜在的に富田林駅への利便性の向上を望んでいることを表す。

図9-1：運行ルートについての満足度



(2) 運行本数についての満足度

- ・約50%が満足と回答している。実験バスとして「買い物」等の単一目標であれば、運行本数に合わせた行動が可能であり、満足という回答も予想できる。
- ・一方、増やしてほしいという人達の意見では、30分に1便という要望が最も多い。15分・20分に1便というのは当該地域の全体から見ても現実的ではない。

図9-2：運行本数についての満足度

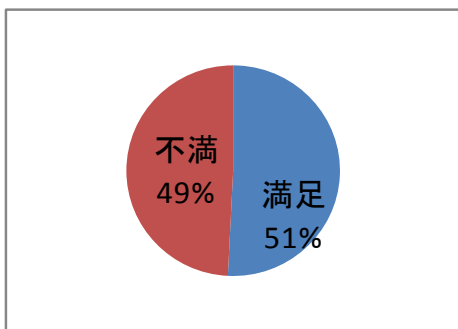
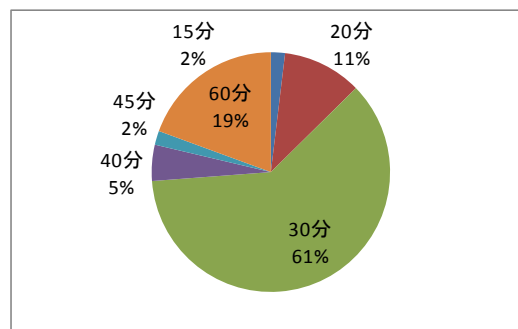


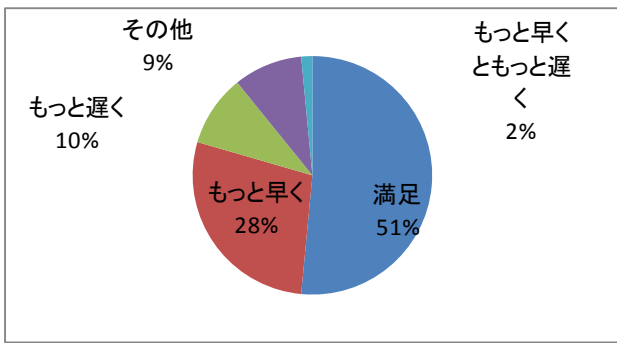
図9-3：理想の運行間隔



(3) 運行時間帯についての満足度

- ・約50%が満足と回答している。実験バスの目的及び運行車両数からは9:00~20:00という運行時間帯は十分であり、このような評価が得られた。
- ・「もっと早く」というのは、①通学時間に合うように、②高校生の通学で金剛バスが少なくその間をさくらバスの運行を、という意見である。通学目的については、早い時間帯のニーズがある。

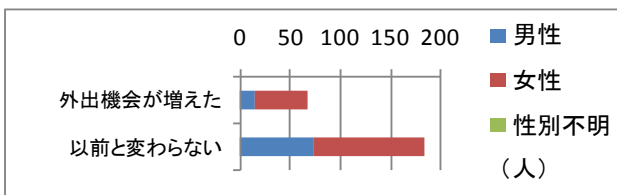
図 9 - 4 : 運行時間帯についての満足度



(4) 生活面への影響

- ・ 外出機会が増えたと回答した人は、大半が女性である。運転免許証を持たない女性の外出行動が増えたと考えられる。
- ・ 今後は、町全体或いは富田林を含めた地域の活性化や豊かさのための公共交通のあり方についての検討が必要である。

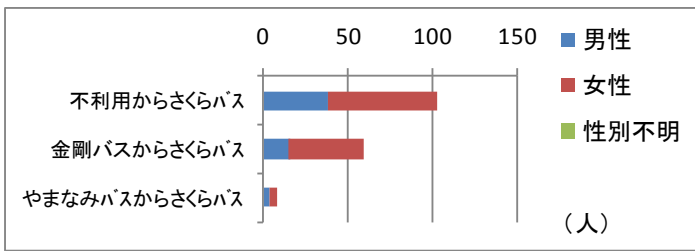
図 1 0 : 生活面への影響



(5) バス利用への転換

- ・ 「これまでバスを利用していなかったが、今回さくらバスを利用した」人が約 60%であった。地域公共交通を考えるうえで重要な「車利用からの転換可能性」を示唆する。
- ・ 金剛バスのかわりにさくらバス利用した人は約 3割であった。これに対して、やまなみバスのかわりにさくらバスを利用した人はほとんどなく、日常生活行動とあまり関連のないやまなみバスと今回の実験バスの性質の違いが明確である。
- ・ 今後の公共交通のあり方を考える場合、バス転換の理由を精査することは重要である。住民協力により河南町の地域バス運行を推進していく根拠となっていくものと考えられる。
 - 経験：一度乗ってみたかった。実験バスには参加したかった。バスに乗るのが好き。
 - 運賃：無料だから
 - バス停等の便利さ
 - 車からの転換：ガソリン代節約
 - 施設利用：万代にいける。さくら坂病院。図書室とかなんピア利用。送迎。
 - 金剛バス：不便さが減少・補完。寺田乗り換え可能。
 - さくらバスを運行してほしい

図 1 1 : バス利用への転換



8. これからの交通について

- ・これからのバスの充実を望む人は 97%と、ほぼ全員と言ってよい。
- ・そのために必要な事項としては様々な意見があろう。1人1人の自覚と有料化、河南町行政としての税金投入の是非、金剛バス事業者及び実際に運行する事業者の協力などこれから検討していくべき課題は多い。
- ・「バス充実に必要なこと」では、「一人ひとりがバスを利用すること」という回答が一番多かった。住民組織が主体となった実験バス運行・アンケートは住民意識の醸成に効果があったと言える。

図 1 2 - 1 : バス充実を望むか

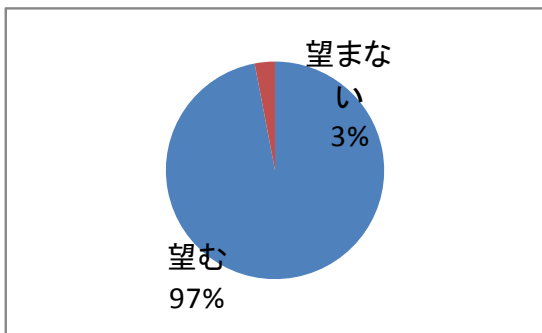
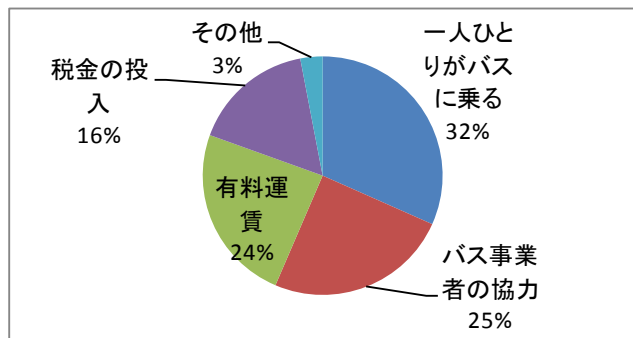


図 1 2 - 2 : バス充実・持続には何が必要か



9. 自由意見

アンケート回答総数 294 枚中 93 枚の自由意見が記載された(さくら坂 70 枚、鈴美台 23 枚)。それらを項目毎に分類した上で、アンケート調査での集計結果から読み取れない意見や考えを中心に列記する。

1) 実験バス運行についての総評

- ・実験バス運行に感謝する
- ・住民主導の実験をムダにしないためにも継続運行を望む
- ・金剛バスとの協力と連携を図ることが重要である。バス運行が現在の金剛バスの便数減にならないか危惧する。
- ・河南町の将来を考え 10 年～20 年後を想定した評価が必要。現在と将来のニーズに備える。
- ・全町民への周知。

2) 運行形態について

- ・利用者数に応じたバスの規模や定員の検討が必要。学生対象の場合定員オーバーが生ずる。
- ・有料化や低運賃を考慮すると、万代や大型店舗との協力が不可欠となる。スポンサーの募集も。

3) 運行ダイヤ・ルート等について

- ・最終バスの時間が早すぎる。近鉄の終電に合わせた運行を。
- ・河南町の公共交通の充実には大宝地区を含めた循環も必要である。
- ・本質的には、川西駅・富田林駅までの輸送が課題である。
- ・寺田での接続時間の調整が必要。また乗り継ぎの調整は今後の地域バス運行においても不可欠。
- ・目的地までの時間短縮やかなんぴあへの直接乗り入れなどの工夫。
- ・将来の新しい商業施設や土地利用を考慮したバス運行を検討してほしい

4) 実験バス運行で役に立ったこと

- ・地域バスの運行は子供達の安心・安全に繋がる
- ・外出しやすくなった（路線バスは高運賃、寺田乗り換えで安くなり外出しやすい）
- ・コミュニティのツール或いは生活環境拡大（友達の輪の広がり、ご近所さんとのコミュニケーションが増えた。生活時間が広がる）
- ・地域活性化や人口増にもつながるのではないか。河南町全体の活性化や魅力あるまちづくりを図る上で大変重要な取り組みである。

5) 実験バスを利用しなかった（出来なかった）理由

- ・現在はまだ車利用。しかし高齢化や車利用できなくなれば利用したいが、それまで継続を！
- ・時間が合わなかったが試乗できなくて残念。しかしこのような取り組みは住民意識の向上のためにも有意義。

6) 地域公共交通について及びその他意見

- ・寺田にパーク&ライド（無料）を作り、富田林駅へのアクセス改善。金剛バスとの連携強化。
- ・行政・住民・事業者・学識者を入れた検討部会を設け目標期限を設定し進める。
- ・河南町内の店舗や施設の充実を図り、コミュニティバスの有効な運行を図る。
- ・5年ごとの居住状況を把握し、地域住民総意によるコミュニティバスの必要性を高める。
- ・運転手に感謝する（対応・言葉遣いなど）
- ・コミュニティバス運行への総論（賛否）

否：町営バスは必要なし（金剛バスの充実：不乗運動などのプレッシャー）。

さくら坂にとって一番の要望は駅へのアクセス。その選択枝を増やす方向で検討を。

賛：交通不便であれば移住も考えざるを得ない。一部税金の投入も必要。